

JENESYS2022 日ブルネイ「エネルギー技術」交流の記録 (オンライン招へい)

1. プログラム概要

【目的】日ブルネイ両国のエネルギー分野の協力・発展を念頭に、ブルネイの若手行政官が、日本における再生可能エネルギー技術についての魅力を体験し、同分野における日本の国際貢献の現場を学ぶことで、両国の重要性を確認するとともに、関係者間のネットワークを構築することを目的として、本プログラムを実施しました。

【参加者】ブルネイの若手行政官（気候変動事務局、エネルギー局）計 24 名

【訪問地】事前学習：東京都、オンライン訪日プログラム：東京都、京都府、北海道、マレーシア

【日程】

このプログラムは、一部他のプログラムと合同で実施しました。

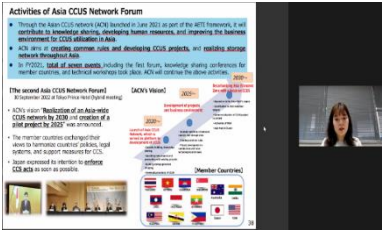
日にち 訪問地	内容	参加者の質問・反応
事前学習		
2023 年 1 月 24 日	【講義・質疑応答】 ① テーマ理解講義 「日本とブルネイのエネルギー分野における協力の歴史と日本のエネルギー・トランジションへの取り組み」 講師：経済産業省資源エネルギー庁 課長補佐 温井 絵理香氏 ② 質疑応答	ブルネイにおける日本とのエネルギー分野での協力関係や、足元の情勢を踏まえたエネルギー・トランジションに関する日本の政策、今後のブルネイとの協力についての講義でした。参加者は、業務に関わる内容に熱心に聴講していました。多角的なエネルギー対策に触れた講義に、非常に高い関心を持っていました。
訪日前迄 の個別学習	【動画視聴】 ① 外務省挨拶 ② 事前オリエンテーション ③ ホームビジット体験 ④ 愛知の魅力～産業、最先端技術～ ⑤ 日本文化理解（京都） ⑥ 日本語学習 ⑦ 1 月 24 日講義「日本とブルネイのエネルギー分野における協力の歴史と日本のエネルギー・トランジションへの取り組み」	プログラムへの理解を深めるため、参加者は、日本やプログラムに関する動画を視聴しました。 また、テーマ理解講義に参加できなかった方のために、講義（1 月 24 日実施）動画も共有しました。

オンラインプログラム（以下7日間の参加人数 計14名）		
1日目 2023年 2月1日 東京都、 北海道	【オリエンテーション】 (注)他のプログラムと合同実施 ① 開会 ② オリエンテーション パート1 プログラム概要・目的説明 ③ オリエンテーション パート2 日程、プログラム詳細説明 ④ グループ別参加者交流 ⑤ 閉会	グループ別オリエンテーションでは、今後のプログラムを共有したのち、発表グループごとに分かれ、各担当を決めました。参加者は、プログラムの目的、学びを理解し、報告会で発表に向けて何をするべきかグループごとに話し合っていました。
2日目 2023年 2月2日 マレーシア	【テーマ理解講義・質疑応答】 ① 開会 ② テーマ理解講義 「マレーシア・マラッカ州の水上ソーラーシステム」 講師：自然電力株式会社 エンジニアリング部長兼マレーシアカンントリーマネージャー ウリ・ゴールテンボット氏 ③ 質疑応答 ④ 振り返り（グループ別） ⑤ 閉会	画期的なアイデアがベースとなって生まれた水上ソーラーシステムについて、参加者は大変興味を持った様子で熱心に聴講していました。質疑応答では、「設備の寿命期間は海上と陸上では異なるか」「リサイクルは可能か」等の他多くの質問がありました。素晴らしいアイデアのプロジェクトですが、まだ多く解決すべき課題があることも学んだ様子でした。
3日目 2023年 2月3日 東京都	【テーマ理解講義・質疑応答】 ① 講義 「エナジートランジションー水素社会へのアプローチ」 講師：三菱重工業株式会社 エナジードメイン、エナジートランジション総括部 新事業開発・推進部 カーボンニュートラルグループ グループ長 氏家 淳也氏 ② 質疑応答	ブルネイ気候変動事務局や、エネルギー省、首相官邸勤務の参加者は、難しい講義中も熱心にノートを取り、真剣な様子が窺えました。質疑応答も活発におこなわれ、講師から「その意気意気込みで再生エネルギーへの取り組みをブルネイ行政で行って行って欲しい」といった激励の言葉もありました。
4日目 2023年 2月4日 京都府	【日本文化体験】 (注)他のプログラムと合同実施 茶道体験 ① 開会 ② 講義・実演 「茶道 お茶と和菓子の作法について」	茶道体験では、京都にある講師のご自宅から、ご夫婦揃って迎え入れていただきました。温かい歓迎の気持ちがこもっており、参加者にとって、ホームビジットのような体験となりました。鈴木先生ご夫婦のお人柄やおもてなしの心、和菓子の

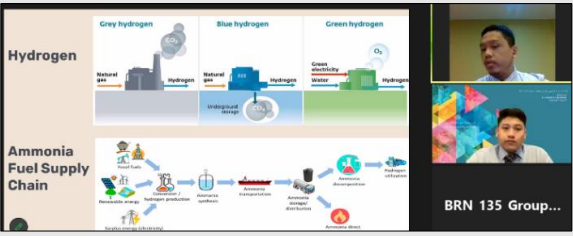
	て」 講師：一般社団法人 茶道裏千家淡交会 京都北支部 副幹事長 鈴木 宗博氏 ③ 質疑応答 ④ 閉会	もつ意味合いなど、様々な和のポイントに驚いた様子でした。
5 日目 2023 年 2 月 5 日 北海道	【視察】 (注)他のプログラムと合同実施 北海道小樽市バーチャルツアー ① 北海道小樽市概要説明 ② 小樽市祝津地域のドローン中継 ③ バーチャルツアー 小樽市堺町通～小樽運河 ガイド：一般社団法人小樽観光協会 おもてなし力推進プロジェクトメンバー 高橋 龍氏 ④ 質疑応答 登壇者：一般社団法人小樽観光協会 事務局次長（事業推進担当） 永岡 朋子氏 ⑤ 閉会	小樽市バーチャルツアーでは、ドローンを使った中継に加え、地元ガイドの方に、市内と文化を案内していただきました。参加者からの評価も高く、いつか北海道に行って小樽市を訪ねたいという感想が多く聞かれました。
6 日目 2023 年 2 月 6 日 北海道	【ワークショップ】 (注)他のプログラムと合同実施 報告会発表準備 ① ワークショップの説明 ② アクション・プラン作成(グループ別) ③ 閉会	グループメンバー同士熱心に協力しながらプログラムのテーマに沿って、これまでの学びを振り返り、アクション・プランを考え、報告会でのプレゼンテーションの準備をしました。
7 日目 2023 年 2 月 7 日	【報告会】 (注)他のプログラムと合同実施 ① プレゼンテーション（各グループ） ② 講評 ③ 閉会	ブルネイの参加者にとって、他の国と違うテーマでの合同の報告会を体験する事で、発表への張り合いを感じたようでした。短い制約時間内でしたが、盛りだくさんの内容を発表していました。

2. 記録写真

事前学習

	
1月24日【ウェビナー・質疑応答】「日本とブルネイのエネルギー分野における協力の歴史と日本のエネルギー トランジションへの取り組み」	1月24日【事前学習】集合写真

オンラインプログラム

	
2月1日【オリエンテーション】グループごとに今後の進方を共有する様子	2月2日【講義・質疑応答】「マレーシア・マラッカ州の水素ソーラーシステム」
	
2月3日【講義・質疑応答】集合写真	2月4日【日本文化体験】茶道
	
2月5日【視察】北海道小樽市バーチャルツアー	2月6日【ワークショップ】報告会準備
	
2月7日【報告会】アクション・プランプレゼンテーション	2月7日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 社会人

小樽市のバーチャルツアーが印象的でした。再生可能エネルギーや水素技術に関する専門性の高い講義は非常に参考になりました。講師も質問に対しとてもオープンで、これは私たちが学習する上で非常に素晴らしい経験となりました。

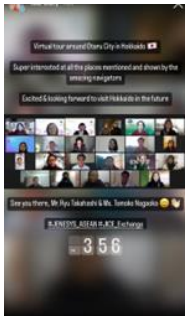
◆ 社会人

テーマに関する参加者、プレゼンター、ファシリテーター間の交流は、魅力的で素晴らしかったです。特に茶道体験では、特別な儀式について深く学ぶことができました。

◆ 社会人

非常に技術的な講義で、私がとても興味を持っていたことについて、素晴らしい知識を得ることができました。講演者の方はその分野の専門家であり、その方々から学べたことに本当に感謝しています。

4. 参加者の対外発信（抜粋）

	
2023年2月6日（Instagram） 小樽市、北海道バーチャルツアーで紹介された全ての場所が非常に興味深く、またナビゲーターの方がとても素晴らしかったです。 とてもエキサイティングで、将来北海道を訪れるのがとても楽しみです。その時はまたお会いしましょう。	2023年2月6日（Instagram） このような素晴らしいプログラムに招待頂き感謝しています。とても楽しく、多くのことを学びました。プログラムで学んだことをブルネイでも役立てたいです。

5. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表（抜粋）

日ブルネイ交流（エネルギー技術）①

	5. Action Plan Share to our local NGO's and our nation on the developments of technology and new renewable energy. - All the new technologies in works: Solar, Floating Solar, Wind, Hydro, Ammonia. - How is Japan working with the world to bring this energy. - How is Japan and Brunei working together. - How is Japan moving to develop this technology! An easily shared Graphic Design to be shared on IGs.	5. NGOs We Plan to Share to 
---	--	---

■ 実施計画：

新しい技術と再生可能エネルギー開発について、以下の情報を発信します。

- 太陽光、水上太陽光、風力、水力、アンモニアなど現在使用されているすべてのエネルギー関連新技術について
- エネルギーを供給するために日本がどのように世界と協力しているか
- 日本とブルネイの今後の協力について日本がこれらの技術開発にどのように取り組んでいるか

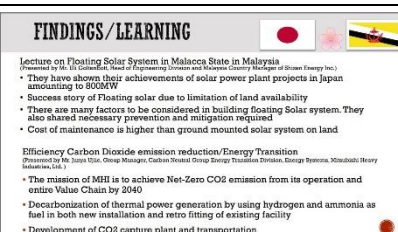
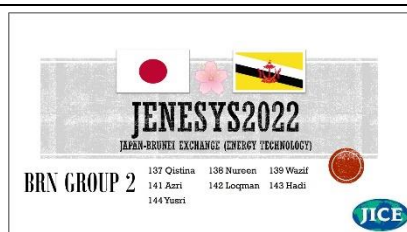
■ ターゲット：

地元の NGO、ブルネイ政府

■ 実施方法：

インスタグラムへの投稿で見た人に分かりやすく共有できるグラフィックデザインを制作する。

日ブルネイ交流（エネルギー技術）②



■ 実施計画：

帰国後、プログラムで得た以下の知識と調査結果を関与している太陽光発電プロジェクトの実施委員会にて共有する。

- 温室効果ガスの排出量をゼロにするプロジェクトをサポートする
- 産業排出を削減する
- 日本文化を同僚や友人と共有する
- 他の人々に北海道など日本への訪問を奨励する

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）